

茨城県那珂川・県央広域工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

那珂川工業用水道事業及び県央広域工業用水道事業の給水区域は、茨城県の中央部に位置する県都水戸市及びひたちなか市等の工場群を中心に産業の発展を続けてきた地域である。

また近年では、重要港湾常陸那珂港を中心とする常陸那珂開発や常磐自動車道、東関東自動車道及び北関東自動車道等の交通網の整備が進められており、新たな工業開発が期待されている地域でもある。

当事業は、工業開発の推進に不可欠である工業用水の安定供給を行うことにより、地域の振興に資する目的で実施されたものである。

○事業の経緯

那珂川工業用水道事業は、ひたちなか市及び那珂市の工場群への工業用水供給を目的に昭和37年度着工され、昭和41年10月に一部給水を開始し、昭和50年度に施設が完成した。

その後、那珂市に造成された那珂西部工業団地に給水するため、平成3年度から7年度にかけて取水・浄水・配水施設の改良工事を実施した。

県央広域工業用水道事業は、那珂川工業用水道事業による工業用水の供給が施設能力のほぼ限界に達していたことから、工業開発の進展等に伴う新たな水需要に対応した工業用水を確保するため、平成7年度に国庫補助事業として事業化され、平成13年10月に一部給水を開始し、平成20年現在も整備中である。

また、那珂川工業用水道事業は、事業開始以来約30年が経過し、施設の老朽化が進んだことにより、平成8年度から14年度までの7年計画で国庫補助事業による改築事業を実施した。

改築事業は、県央広域工業用水道事業と一部重複することから、工事費の軽減と施設の耐震性の強化を図ることを目的に共同施行により実施している。

○ユーザーの概要

(平成20年3月末現在)

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
機械	2	
電子	3	
電力	2	
金属	2	
製紙	2	
鉄鋼	2	
食品	3	
プラスチック	2	
その他	3	
合計	21	95,176

○工業用水道施設の概要

那珂川工業用水道事業及び県央広域工業用水道事業は那珂川の表流水を取水し、取水ポンプ所からφ1,200mmの導水管にて約700m離れた那珂川浄水場へ導水している。

場内では、那珂川工業用水道事業及び県央広域工業用水道事業それぞれの浄水施設・配水施設が整備され、配水ポンプにてひたちなか市、那珂市、常陸大宮市、東海村の各方面へ給水している。

配水管は、管径1,200～700mmの共同施行区間で約10km、管径700～100mm区間約56kmで供給を行っている。

○事業の特徴

水源である那珂川の集中豪雨時の濁水対策及び渇水期における河口からの塩分遡上に対応するため、共同施行により沈砂機能と調整池機能を兼ね備えた容量12,000m³の沈砂調整池の建設を平成13・14年度で実施し、工業用水の安定供給を図っている。

○茨城県企業局のホームページアドレス

<http://www.prefibaraki.jp/bukyoku/kigyou/>

○給水系統図を含む給水区域図

概要図

